

株式会社フォーバル

佐賀県の令和6年度『DXコミュニケーター事業』を2年連続受託 ～ITの専門家である『DXコミュニケーター』の配置を通じ佐賀県のDXを推進～

『「新しいあたりまえ」で、新しい世界を創るFORVAL』を理念に掲げ、ESG経営を可視化伴走型で支援する次世代経営コンサルタント集団の株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島 将典、以下「フォーバル」）は、佐賀県より「DXコミュニケーター事業」（以下「本事業」）を受託し運営を開始しました。同事業を令和5年度から2年連続受託となるフォーバルは、佐賀県の中小企業のDX化を促進してまいります。

佐賀県の『DXコミュニケーター事業』を2年連続受託



×



佐賀県

■事業受託の背景と目的

佐賀県では、これまでに佐賀県産業スマート化センター（以下「スマート化センター」）の開設・運営を通じて、生産性向上や新たなビジネス創出に取り組んできました。しかし、DXに対して無関心であったり、様子見の姿勢を取る中小企業が多数存在するのも事実です。このような状況を踏まえて、フォーバルは新たにIT領域の専門家であるDXコミュニケーターを配置し、DXに無関心または様子見の企業に対してDXの必要性やメリットを啓発していきます。

これにより、これらの企業とスマート化センターとの接点を構築し、DXに関する情報提供や継続的な支援を受けられる環境を整備してまいります。

■委託業務の内容

本事業の業務は、県内企業等を訪問し、ヒアリングを通じてデジタル技術で解決可能な潜在的な課題を抽出し、解決策の提案や助言を行うとともに、DXへの一歩を進ませるための一手段として、スマート化センターへの相談を促すと共に、スマート化センターと同様な機能を持つ唐津市DXイノベーションセンターとも連携し、利用者促進も併せて対応してまいります。

本事業内容は以下の通りです。

- (1) 事業の企画・支援・管理業務
- (2) 県内企業への外訪業務
- (3) 産業DX・スタートアップ推進グループ及びスマート化センターの広報支援
- (4) その他、本事業に必要な一切の業務

■佐賀県産業DX・スタートアップ推進グループ コメント

佐賀県では、「デジタルを佐賀のビジネスの常識に」するため、「佐賀県産業スマート化センター」の開設や「DXコミュニケーター事業」など、様々な産業DX推進の施策を展開してきました。「DXコミュニケーター事業」は、年間1,000社以上の県内企業を訪問し、DXの普及啓発を図ることを目的としています。本事業をきっかけに、多くの県内企業がDXのメリットを感じ、DXに取り組んでいただけることを期待しております。

【株式会社フォーバルについて】

ESG経営を可視化伴走型で支援する次世代経営コンサルタント集団であるフォーバル（資本金：41億5000万円、【証券コード：8275】）は、中小・小規模企業を対象に「情報通信」「海外」「環境」「人材・教育」「起業・事業承継」の5分野に特化したコンサルティングサービスをコアビジネスとしています。

政府が掲げる4つの原動力「グリーン」「デジタル」「活力ある地方創り」「少子化対策」に則り、自治体・民間企業・教育機関と連携しながら日本全国でDX・GX人材を育て、その人材が地元経済を活性化させるという好循環によって持続的な地方創生の実現を目指す「F-Japan」構想を推進するとともに、近年ますます注目される人的資本をはじめとしたESG経営の可視化伴走支援に取り組んでいます。

■会社概要

社名：株式会社フォーバル

代表：代表取締役社長 中島 將典

設立：1980年（昭和55年）9月18日

所在地：東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号青山オーバルビル14階

URL：<https://www.forval.co.jp>